

令和2年度 学校課題推進計画

吉田西小学校

1 研究主題

主体的に表現し、伝え合う児童・生徒の育成

～基本的表現を身につける授業の創造と語彙力の育成を通して～

2 研究主題設定の理由

本校では、昨年度、市の「小中一貫教育推進研究学校指定事業」を受け、「しもつけ未来学習」を基盤とした外国語活動の時間を使って、英語学習を中心としたコミュニケーション能力の育成を目的として研究を進めてきた。特に英語学習では、「アイコンタクト」と「リアクション」を重点課題とし、リアクションの仕方を学ぶことにより、コミュニケーションへの苦手意識は少なくなり、会話をしようとする児童が増えた。しかし、自分の考えや思いを主体的に伝え合おうとするまでには至っていない。

そこで、今年度は、外国語活動や外国語科において、英語でリアクションを付けたコミュニケーションができるようにすることはもちろんのこと、国語科において、基本的な表現力、話し合いの仕方を身につける授業を工夫することで、主体的に自分の考えや思いを表現できる児童を育成しようと考えた。

3 研究の仮説

児童が「やってみたい」と思えるような学習課題や活動を数多く設定し、ペア活動やグループ活動の活性化を図る中で、基本的表現（話し方、聞き方、話し合いの仕方）を身につけたとき、主体的に表現し、伝え合う力を高めることができるだろう。

4 めざす児童像（身につけさせたい力）

既知の学習内容を活用し、表現力豊かに伝え合う子ども		
低学年	中学年	高学年
○言葉ではなく、文で話せる子 ○思いや考えのわけ（根拠）が言える子	○大事なことを ゆっくり相手を見て話せる子 ○共通点や相違点を見つながら話せる子	○表現力豊かにコミュニケーションできる子 ○論理的に 筋道を立てて話せる子

5 研究の視点

(1) 基本的表現を身につける授業の創造

主に外国語活動や外国語科の授業	主に国語科の授業
①「やってみたい」を引き出す工夫 ・児童の興味・関心のある題材の選定(教科横断的な題材) ・必要感のある学習課題の設定 ・聞く、話す必然のある活動 ②学習過程における学習形態の工夫 ・効果的なペア・グループ活動の位置付け方 ・児童に安心して活動に取り組みさせるための見通しをもてる授業の展開 ・ALTの役割の確認	①「話す・聞く」単元の充実 ・各学年における身につけたい力の設定と指導の工夫 ・系統的な積み重ねの指導 ②話し合いの仕方、伝え方の習得 ・「コミュニケーションタイム」（授業初めの帯学習）の実施 ・司会、参加者など役割の応じた話し合いの型の作成

後 期	7	1 水 7 火	★小中一貫の日② ●市道徳研修会	●授業研究会（ 年）授業者（ ） 市教委（ 指導主事）	教務主任 道徳主任 研究主任	
		8 水	○心肺蘇生法研修	・AED実技講習（PTA研修）	安全主任	
		2 1 火 2 2 水 2 7 月	■備品点検 ◇校内就学支援委員会 ○服務義務研修 ☆学力向上改善プラン	・備品の点検 ・就学支援に関する共通理解 ・事例研修 ・まなび・デキルヨ実施状況確認	事務主任 特別支援担当 教頭 学習指導主任	
		2 8 火	■環境整備	・廃棄備品の片付け ・教材室、準備室の清掃	事務主任	
		2 9 水	●学校課題研修	●外国語指導案検討（ 年）	研究主任 授業者	
		8	3 月	★小中一貫の日③	教務主任	
		9	2 水 9 水	●学校課題研修 ●学校課題研修	●外国語指導案検討（ 年） ●外国語指導案検討（ 年）	研究主任 授業者 研究主任 授業者
			1 6 水 2 8 月	★小中一貫の日④ ●小中英語研修会 （要請訪問②）	●授業研究会（ 年）授業者（ 先生） 指導者（太田先生） 市教委（稲葉指導主事）	教務主任 研究主任 外国語主任
		10	1 4 水	☆学力向上改善プラン	・まなび・デキルヨ実施状況確認	学習指導主任
		11	4 水 1 1 水 2 5 水	●学校課題研修 ○教育課程編成 ●S&Uコラボ事業（予定）	●外国語指導案検討（ 年） ・教育課程自己評価結果の検討 ●授業研究会（ 年）授業者（ 先生） 宇大附属小（ 先生）	研究主任 教務主任 研究主任
	12	1 6 水 2 1 月	○未定 ★小中一貫の日⑤	●南河中区小中授業研修会 授業研究会（薬師寺小）	研究主任 研究主任	
	1	2 7 水	★小中一貫の日⑥		教務主任	
	2	1 0 水 1 7 水	☆学力向上改善プラン ●学校課題研修	・学力テストの分析 ・今年度の成果と課題（評価・まとめ） ・次年度の研究の方向性	学習指導主任 研究主任	
	3	3 水				